

大学等廃棄物処理施設協議会

大学等廃棄物処理施設協議会主催の第11回廃棄物処理技術分科会が平成7年7月20日（木）と21日（金）に東北大学工学部青葉記念会館で開催され、岡山大学からは篠田環境管理センター長、井勝助手、加瀬野助手及び竹内主任の4名が参加した。本分科会では3題の特別講演と7題の研究成果報告が行われた。なお、研究成果報告では岡山大学環境管理センターの加瀬野助手が“岡山大学における排水中有機塩素化合物の現状と課題”という演題で、当センターにおける廃液処理技術に関連して技術検討を行ってきた成果を報告した。分科会終了後は東北大学環境保全センターの見学会が行われた。東北大学では1994年12月に施設の更新が行われ、それに伴いバーコードとコンピューターを利用した廃液の管理システムを構築しており、今後の廃液管理方法として注目を集めた。

第13回大学等廃棄物処理施設協議会総会・研修会が平成7年11月9日（木）と10日（金）に早稲田大学総合学術情報センターで開催され、岡山大学からは篠田環境管理センター長、井勝助手、加瀬野助手及び藤元主任の4名が参加した。総会では、早稲田大学小山建夫氏、埼玉大学奥墨勇氏、琉球大学前田芳己氏及び日本電気環境エンジニアリング（株）渡邊広幸氏の4名に技術賞が授与された。研修会では、3題の特別講演、フリーディスカッション「有機塩素系溶媒排出低減」、4部会の作業部会報告が行われた。なお、研修会終了後早稲田大学環境保全センターの見学会が行われた。早稲田大学ではケミカルショップを通じての試薬購入が行われており、化学物質の性質も含め試薬の管理が一括して行われている。

上記技術分科会及び総会・研修会の講演を中心に編集された大学等廃棄物処理施設協議会会報第13号の目次を以下に掲載する。内容に興味のある方は環境管理センターまでお問い合わせ下さい。また、本協議会には岡山大学も団体会員として登録していることから、岡山大学教職員は本協議会開催の行事に参加することができます。詳細については環境管理センターまでお問い合わせ下さい。

大学等廃棄物処理施設協議会会報 第13号 目次

ご挨拶(1)	大学等廃棄物処理施設協議会・会長 白須賀 公平	1
御挨拶(2)	文部省・文教施設部・指導課 飯田 和彦	3
特別寄稿(1)	「廃プラスチックのケミカルリサイクル」 東北大学工学部・教授 奥 脇 昭 嗣	4
特別寄稿(2)	「母なる大地，生命の水，そして空気は…Part 2」 東北大学医学部・教授 佐 藤 洋	11
特別寄稿(3)	「化学物質の総合安全管理に関する最近の動向-期待されるリスポンシブルケア」 通産省基礎産業局化学品安全課・課長 福 永 健 文	15
特別寄稿(4)	「早稲田大学における研究室の安全と環境」 早稲田大学理工学部・教授 松 本 和 子	21

特別寄稿(5)	「労働作業現場におけるトラブルに対する初期対応について」	東京女子医科大学病院・救命救急センター・教授 鈴木 忠 ……………	26
特別寄稿(6)	「循環型事業所としての大学に向けて」	国立環境研究所・社会環境システム部・部長 後藤 典弘 ……………	28
技術賞受賞寄稿(1)	「『泥環』との歩み」	早稲田大学人事部・調査役 小山 建夫 ……………	33
技術賞受賞寄稿(2)	「廃液処理施設の12年とさらなる環境負荷の低減を目指して」	埼玉大学工学部・奥 墨 勇 ……………	38
技術賞受賞寄稿(3)	「廃棄物処理施設とともに」	琉球大学・環境安全センター・前田 芳己 ……………	44
技術賞受賞寄稿(4)	「有害金属イオンを含むスラッジの安定化」	日本電気環境エンジニアリング(株)・渡邊 広幸 ……………	49
委員会報告	「第3回大学等廃棄物管理アジア地域国際シンポジウム」	名古屋大学 国際交流委員会・委員長 原 口 紘 丞 ……………	55
作業部会報告(1)	「環境教育部会報告」	環境教育部会・会長 山田 浩司 世話人 東京工業大学 玉浦 裕 ……………	59
作業部会報告(2)	「大学等廃液処理施設の作業環境と安全衛生」	安全・衛生部会・部会長 村山 忍三 世話人 正藤 英司 ……………	61
作業部会報告(3)	「廃棄物処理施設の更新, 改修等に係わるアンケート調査について」	処理プロセス部会・世話人 立本 英樹 ……………	66
研究成果報告(1)	「廃液管理と運転のコントロールのシステム」	日揮株式会社・岡村 善雄, 石坂 正勝 ……………	67
研究成果報告(2)	「液中燃焼式廃液処理技術の進歩と今後の課題」	広島大学・正藤英司, 日揮株式会社・石坂正勝, 池田史郎 ……………	74
研究成果報告(3)	「処理施設の歴史と設備更新」	東北大学・環境保全センター・丹野 庄二 ……………	78
研究成果報告(4)	「設備運転のマネジメントについて」	「専従者一人の施設における効率化をめざして」 群馬大学・特殊廃液処理施設・藪塚 勝利 ……………	84
研究成果報告(5)	「アルカリ塩素法によるシアン化物分解時におけるトリハロメタン類の発生」	弘前大学・廃液処理施設担当技官 新谷 浩敏 ……………	88
研究成果報告(6)	「有機塩素化合物の排水への流出防止と処理技術」	岡山大学・環境管理センター・竹内文章, 加瀬野悟, 井勝久喜 田中雅邦, 藤元教尊, 篠田純男 ……………	94

研究成果報告(7) 「廃液試薬回収記録による危険物分布の推定」	
東京大学・環境安全研究センター・鶴田俊	102
フリーディスカッション 「排水中有機塩素系化合物濃度低減対策について」	
東京工業大学・炭素循環素材研究センター・辻正道	106
見学記(1) 「東北大学環境保全センター廃液管理システム見学記」	
東京大学・環境安全研究センター・横山道子	110
見学記(2) 「早稲田大学環境保全センター見学記」	
東京大学・環境安全研究センター・鶴田俊	111

岡山・香川環境資源懇話会

岡山・香川環境資源懇話会は、昭和63年6月に産・官・学の情報交換、技術交流の場として発足以来、毎年多彩な事業活動を行っている。岡山大学環境管理センターでも環境関係の情報収集及び技術交流を目的として懇話会事業に積極的に参加している。平成7年度は以下の事業が行われた。なお、岡山・香川環境資源懇話会会報第8号の目次を掲載した。本懇話会は岡山工学振興会で事務処理を行っています。入会希望その他の問い合わせは岡山工学振興会にお願いします。

1. 平成7年度総会・講演会

日時：平成7年5月12日（金） 14：00～19：00

会場：岡山ロイヤルホテル

- 1) 総会
- 2) 講演会

「21世紀の地球環境問題と経済社会」

環境・文明研究所

所長 加藤三郎

2. 第7回R&Dサロン

日時：平成7年9月6日（水） 13：30～16：30

会場：岡山大学大学院自然科学研究科棟大講義室

「持続可能な発展と環境管理・環境監査 -ISO14000から環境JISへ-」

環境監査協会 代表取締役 山田国廣

3. 第8回見学会・討論会

日時：平成7年11月16日（木） 9：30～17：00

会場：香川医科大学

- 1) 見学会

林原生物化学研究所、吉備製薬工場

岡山県工業技術センター

テクノサポート岡山

- 2) 話題提供

「吉備高原、テクノリサーチ地区における水環境」

岡山県

4. 第8回講習会・セミナー

日時：平成8年3月5日（火） 9：00～17：00

場所：岡山商工会議所

題目：窒素、リン対策の最近の動向と話題

(1) 環境資源科学セミナー

1. 海域の窒素, リン環境基準とその対策技術

広島大学工学部環境基礎化学講座 教授 岡田 光 正

2. 窒素, リンの規制の動向

岡山県地域振興部環境保全課 衛生主幹 中 島 順

(2) 環境技術講習会

1. 新しい窒素, リン除去技術

栗田工業(株) 研究開発本部総合研究所 渡 辺 敦

2. セラミック膜を用いたN,P除去型合併処理浄化槽について

(株)クボタ新淀川環境プラントセンター 鳴 上 善 久

3. 担体投入型活性汚泥法によるN,P除去

(株)荏原製作所環境事業本部応用技術部 田 中 俊 博

4. 流量調整・窒素除去型小型合併処理浄化槽の開発

フジクリーン工業(株) 第一開発部 佐 藤 吉 彦

(3) 総合討論

岡山・香川環境資源懇話会会報 第8号 目次

巻 頭 言	地球環境問題について	1
	岡山・香川環境資源懇話会副会長 (株)林原 取締役 小 川 明	
I.	地球環境問題は「文明の問題」だ	2
	環境・文明研究所 所長 加 藤 三 郎	
II.	循環型廃棄物処理をめざして	5
	環境監査協会 代表 山 田 國 廣	
III.	平成7年度 事業実施結果	18
	1. 平成7年度 総会, 講演会, 懇親会	18
	2. 第8回 R&Dサロン	19
	3. 第8回 見学会・討論会	19
	4. 第8回 講習会・セミナー	20
IV.	平成7年度 会務報告	21
V.	会 則	25
VI.	平成7年度 会員名簿	29
	1. 賛助会員	31
	2. 団体会員	33
	3. 個人会員	41
VII.	平成7年度 役員名簿	49